

平成31年度 スタートアップ支援施策を中心とした愛知県の主な産業振興施策について

1 あいちスタートアップ推進事業

平成30年10月に策定した「Aichi-Startup 戦略」に基づき、スタートアップ起業の新たなアイデアとモノづくりの優れた技術との融合によるイノベーションを誘発し、本件産業の成長を拡大させる好循環（エコシステム）を形成する取組を推進。

・スタートアップ支援拠点検討調査（30年度からの継続事業）	16,696千円
	（30年度補正 3,304千円）
・スタートアップ企業支援事業	50,659千円
・創業支援事業（新規）	53,970千円
・海外スタートアップ支援機関連携推進事業（30年度からの継続事業）	117,329千円
	（30年度補正 3,673千円）
計	238,654千円
	（30年度補正 6,977千円）

2 中小・小規模企業への金融支援

中小企業の金融の円滑化を図るため、資金需要に対して十分な融資枠を確保。

予算額 1,794億円 融資枠 4,289億円

【主な制度改正の内容】

(1) 「創業等支援資金」における金利優遇

融資対象者のうち県のスタートアップ支援事業による支援を受けた者等に対して金利を0.3%引下げ。

(2) 「小規模企業等振興資金」【小口資金】の拡充

従来の融資期間より長期の「10年以内」を追加。

平成31年3月28日
愛 知 県

3 産業空洞化対策の推進

産業空洞化対策を推進するため、「産業空洞化対策減税基金」を活用し、航空宇宙、次世代自動車などの分野において、県外企業の新規立地や県内企業の再投資、企業の行う研究開発や実証実験等を支援。

- ・ 産業空洞化対策減税基金事業費 9, 188, 860千円
 - ①大規模投資案件の誘致 「21世紀高度先端産業立地補助金」
 - ②中小規模の投資案件へのきめ細かい支援
「新あいち創造産業立地補助金」
 - ③研究開発・実証実験等への支援「新あいち創造研究開発補助金」

4 次世代産業の育成・振興の推進

次世代を担う産業・人材育成への支援をソフト・ハード両面から行い、日本一の産業県・愛知の産業競争力を高める。

- ・「知の拠点あいち」重点研究プロジェクトの実施
- ・水素エネルギー社会実現に向けた取組
- ・科学技術を担う人材の育成
- ・航空宇宙産業における国際競争力の強化
- ・ロボット国際大会の開催準備

2, 342, 125千円

5 近未来技術の活用と社会実装の推進

自動運転やロボットといった近未来技術を活用し、2020年までに社会実装が可能と見込まれる地域・分野において先導的な取組みの実施。

- ・自動運転
- ・介護・リハビリ支援ロボット
- ・無人飛行ロボット（ドローン）
- ・サービスロボット

98, 014千円